

全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立日根野中学校

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成29年4月18日(火)

3. 調査の対象

中学校第3学年、全生徒

実施生徒数(178 人)

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び数学。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容(A問題)と、それらを活用する力などに関する内容(B問題)とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査(以下「生徒アンケート調査」という。)を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の生徒が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査(以下「学校アンケート調査」という。)を実施する。

平成 29 年度全国学力・学習状況調査の分析(国語)

1. 全体の傾向

「A 区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べて上位層が多い。(領域別で見ても、平均正答率が全国より 1.3～2.9 ポイント上回っているが、「書くこと」の領域が 1.1 ポイント下回っている。)

平均正答率(本校 80/泉佐野市 75/大阪府 75/全国 77.4)

「B 区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べて上位層が多い。(領域別で見ても、平均正答率が全国より 0.7～2.2 ポイント上回っているが、「話すこと・聞くこと」の領域が 0.7 ポイント下回っている。)

平均正答率(本校 73/泉佐野市 67/大阪府 69/全国 72.2)

2. 学力状況調査より(本校正答率/全国正答率)

国語 A	特 徴 が み ら れ た 設 問
【話すこと・聞くこと】 相手に分かりやすいように語句を選択して話す。 7ー 先生から必要な情報をもらうために適した発言に直す。 (59.0/54.0)	【伝統的な国語の言語文化と国語の特質に関する事項】 文脈に即して漢字を正しく書く。 9ー1 漢字を書く(組織の <u>キボ</u> を大きくする) (80.3/62.8) 9ー3 漢字を書く(店を <u>イトナ</u> む) (92.7/85.4) 9二2 漢字を読む(鮮やかな色合い) (87.6/94.5)
【読むこと】 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する。 6ー 登場する人物を整理したものに当てはまる人物の組合せとして適切なものを選択する。 (79.8/74.8)	事象や行為などを表す多様な語句について理解する。 9五 話し合いの記録として適切な言葉を考える。 (29.8/35.8)
6二 「どれもこれも仁王を蔵しているのはなかった」の意味として適切なものを選択する。 (68.0/60.1)	行書の特徴を理解する。 9六1 楷書と比較したときの行書の説明として適切なものを選択する。 (58.4/49.6)
	古典には様々な種類の作品があることを知る 9七2 「徒然草」の作品の種類として適切なものを選択する。 (88.2/78.5)

国語 B	特 徴 が み ら れ た 設 問
【書くこと】 集めた材料を整理して文章を構成する。 3ー 下書きについての説明として適切なものを選択する。 (70.2/75.3)	必要な情報を集めるための見通しをもつ 3三 アンケートをとる対象と質問内容、その質問についての回答を基にした内容載せることで興味をもってもらえると考えた理由を書く。 (78.1/68.8)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の授業の内容はよく分かりますか。	80.0	74.9	◇	5.1
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。	55.0	62.7	◇	7.7
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか。	63.3	55.6	◇	7.7
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか。	71.1	65.9	◇	5.2

○全体的に子どもたちが意欲的に授業やテストに臨んでいることがわかる。

○朝の読書や本の紹介(ビブリオバトル)などにもとりくみ、読書が好きな生徒が多いため、「読むこと」の領域が比較的優れている。

○毎時間の漢字の学習の成果が出ている。

○自分が分析したり考えたりしたことをもとに、表現する学習は多く行っている。しかし、自ら調べたり、資料を使ったりして、自分を表現する学習が比較的少ない。それが、B問題の3の設問一の正答率の低さや、学習状況調査の「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか」の質問の肯定的意見の低さにつながっていると思われる。これからは、そのような学習を増やしていく必要がある。

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析(数学)

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・数学Aは大阪府および全国の平均正答率を上回っている。平均正答率の全体的な分布状況は全国よりも少しだけ高いが、関数領域と資料の活用の領域は平均正答率が全国とあまり差が見られないために苦手の傾向が見られる

平均正答率(本校 70/泉佐野市 61/大阪府 64/全国 64. 6)

「B区分問題」

- ・数学Bは大阪府および全国の平均をやや上回っているが、全体的な分布状況を見ると、資料の活用の領域は平均を下回っている。また、半分以上の正答率となる問題もあるため、苦手の傾向にあると考えられる。

平均正答率(本校 51/泉佐野市 43/大阪府 46/全国 48. 1)

2. 学力状況調査より(本校正答率/全国正答率)

数学A	特 徴 が み ら れ た 設 問
【数と式】②(1) 数量の関係を文字式で表すことができるかどうかをみる。(67. 4/56. 3) 授業では、具体的な数や言葉を使った式を利用して数量関係を捉え、文字式で表したり、その意味を解釈する活動を取り入れてきた。 今後は、線分図などで表したりする活動も取り入れることが大切である。 【数と式】③(3) 二元一次方程式の解の意味を理解しているかどうかをみる。(69. 1/59. 6) 授業では、解の意味を理解できるようにするために、様々な数を文字に代入し、二元一次方程式を成り立たせる文字の値の組を探す活動を取り入れてきた。このような活動を通して、二元一次方程式の解となる x、y の値の組は無数にあることを理解できるようにすることが大切である。 【図形】⑤(4) 円柱の体積を求めることができるかどうかをみる。(67. 4/51. 8) 授業では、角柱や円柱の体積を求めることができるようにするために、模型を使った授業を取り入れてきた。 今後は、柱体の体積を求める際、底面の形を一定の方向に平行に移動することによって構成される立体とみることができることを確認する場面を設定することが大切である。	【図形】⑥(1) 錯角の意味を理解しているかどうかをみる。(62. 9/43. 1) 授業では、2直線に1直線が交わってできる角の位置関係について理解できるようにするために、互いに同位角や錯角の関係になっている角を見い出す活動を取り入れてきた。 今後は、2直線に1直線が交わってできる角の大きさを測定し、同位角や錯角が等しくなるのは2直線が平行な場合だけであることを、実感を伴って理解できるようにすることが大切である。 【図形】⑥(2) 多角形の内角の和の求め方を理解しているかどうかをみる。(61. 8/69. 4) 授業では、様々な方法で多角形の内角の和を求める活動を取り入れてきた。 今後は、五角形、六角形などの内角の和を帰納的に調べてきまりを見い出す活動を取り入れ、その際、1つの頂点から引いた対角線によって分割してできる三角形の個数を多角形の辺や角、対角線の個数と対応させ、n角形の内角の和が $180 \times (n-2)$ になることの意味を捉えることができるようにすることが大切である。

【関数】10(2) 与えられた比例のグラフから x, y の関係を比例の式で表すことができるかどうかをみる。 (66.3/57.1) 授業では、比例を表、式、グラフなどで表し、それらの特徴を理解させるようにしている。 今後は、原点を通る直線のグラフであることから、比例のグラフを表しており、$y=ax$ の式で表すことができることを確認することが大切である。	
--	--

数学B	特徴がみられた設問
【図形】4(1) 2つの角の大きさが等しいことを、三角形の合同を利用して証明できるかをみる。(55.9/44.1) 授業の中で、根拠を明確にして証明することを丁寧に指導してきた。 複雑な図形になった際にも、筋道を立てて、丁寧な解答を書くことを心がけて証明していくことが大切である。 【図形】4(3) 三角形の性質や、図形の合同の性質を利用して、新たな性質を見つけることができるかをみる。 (50.3/44.5) 授業では合同を利用して解く問題を扱い、性質を深く理解させるようにしている。 三角形の合同を証明することで、合同な図形の性質を使うことができる点を理解している。様々な性質を利用していくことが大切であることを確認していく。	【資料の活用】5(2) 与えられた情報から必要な情報を選択することができるかをみる。 (41.2/50.3) 授業では言葉の意味を理解させることを指導してきた。 平均値と中央値の違いを理解していない可能性がある。求めるものが、どの値なのかを理解させ、言葉の意味を再度理解させる必要がある。理解した上で、必要な情報を読み取る力をつけさせたい。

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
数学の勉強は好きですか	46.7	55.4	◇	8.7
数学の勉強は大切だと思いますか	74.5	81.1	◇	5.6
数学ができるようになりたいと思いますか	84.4	91.2	◇	6.8
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	63.9	72.4	◇	8.5

○数学の勉強が嫌いな生徒が多いので、数学を身近なものであるということを考えられない傾向がある。

○いろいろな例を挙げることや、授業の展開で、興味を持たせることが必要である。

○じっくり考える力をつけるために、授業中の雰囲気が必要になると考える。

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析(生徒質問紙より)

設問内容種類別の全国との比較で差が大きい特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本 校 < 本 校 回 答 率 / 全 国 回 答 率 >
【自分自身の様子】	①難しいことでも、失敗を恐れず挑戦している生徒の割合が全国平均を大きく上回っている。	①難しいことでも失敗を恐れないで挑戦していますか $\langle 81.8 / 71.0 \rangle$
	②自分によいところがあると感じる生徒の割合が全国平均を上回っている。	②自分には、よいところがあると思いますか $\langle 77.7 / 70.7 \rangle$
	③授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしていると考えている生徒の割合が全国平均を上回っている。	③授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしていますか $\langle 80.0 / 70.9 \rangle$
	④普段(月曜日から金曜日)、1日当たりの部活動時間は全国平均に比べ、クラブ活動の時間が長い。	④普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、部活動をしめますか 3時間より少なく2時間以上活動 $\langle 54.4 / 44.0 \rangle$ 2時間より少なく1時間以上活動 $\langle 13.3 / 28.4 \rangle$
	⑤家の人(兄弟姉妹を除く)が、授業参観や運動会などの学校の行事に来る割合が全国平均を下回っている。	⑤家の人(兄弟姉妹を除く)は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか $\langle 76.7 / 84.1 \rangle$
	⑥学校に行くのは楽しいと思う生徒の割合は全国平均を下回っている。	⑥学校に行くのは楽しいと思いますか $\langle 67.2 / 80.9 \rangle$
	⑦地域社会などでボランティア活動に参加したことがある生徒の割合が全国平均を上回っている。	⑦地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか $\langle 85.6 / 70.6 \rangle$
【家庭生活の様子】	①土曜日の午後は、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している生徒の割合が全国平均を大きく(2倍程度)上回っている。	①土曜日の午後は、何をして過ごすことが多いですか 学習塾など家以外で学習 $\langle 41.7 / 19.1 \rangle$

【家庭学習の様子】	①家で、学校の宿題をしている生徒の割合は全国平均を下回っている。 ②家で、学校の授業の予習をしている生徒の割合は全国平均を下回っている。 ③家で、学校の授業の復習をしている生徒の割合は全国平均を下回っている。	①家で、学校の宿題をしていますか $\langle 77.8 / 89.5 \rangle$ ②家で、学校の授業の予習をしていますか $\langle 26.1 / 31.7 \rangle$ ③家で、学校の授業の復習をしていますか $\langle 38.4 / 50.5 \rangle$
【学校での学習の様子】	①「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると考える生徒の割合は全国平均を下回っている。 ②1，2年生のときに受けた道德の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると考える生徒の割合は全国平均を下回っている。 ③1，2年生のときに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと考える生徒の割合は全国平均を上回っている。 ④学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと考えている生徒の割合は全国平均を上回っている。	①「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか $\langle 43.3 / 64.3 \rangle$ ②1，2年生のときに受けた道德の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか $\langle 62.2 / 76.0 \rangle$ ③1，2年生のときに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか $\langle 70.5 / 53.7 \rangle$ ④学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか $\langle 71.6 / 62.8 \rangle$

本校の取組み

◎これまでの取組み

- (1) 班長制度，行事ごとに活動するプログラム委員，体育大会の連合形式などを通して，生徒が主体的に動く機会を多く作っている。
- (2) 地域の施設，遺跡のフィールドワークなど歴史学習をとおして地域社会への興味関心を喚起している。
- (3) 2年生では，現在仕事をされている方の講話を聴いたり，職場体験をしたりして，キャリア教育の充実をめざしている。
- (4) 読書の習慣化と落ち着いた学習環境づくりのため，朝の10分間の読書活動を行っている。
- (5) 英語科や数学科(単元に応じて)では少人数習熟度別指導を行っている。
- (6) 授業規律の確立をめざしている。
- (7) 補充学習・個別指導を定期テスト前，長期休業中に行っている。
- (8) 授業改善をテーマに学力向上委員会を行っている。校内研修を通じて学習のめあて，振り返りを提示することを職員間で徹底するよう働きかけている。

◎これからの取組み

- (1) 引き続き，班長制度，行事ごとに活動するプログラム委員，体育大会の連合形式，合唱コンクールなどを通して，生徒が主体的に動く機会を設ける。
- (2) 実生活と教科の学習を関連させることを教師が意識していく。
- (3) 授業の振り返りや，次回の授業の予習をできるよう宿題を出し，自宅学習の習慣化をめざす。
- (4) Eメールや紙媒体を用い，授業参観，学校行事の告知を積極的に行い，保護者等の参観を促す。
- (5) 環境浄化活動，かかしの会，地域のスポーツ行事など地域の方と一緒に活動する機会を引き続き設けていく。
- (6) 総合的な学習の時間を通して，自分の感想を書いたり，発表したりする機会を設け，生徒の主体性を増す指導を行う。
- (7) 道徳の時間では，自分の考えを深めたり，学級やグループで話し合ったりできるよう，班で活動できる座席，コの字型に配置した座席などで授業を行うなどして，交流～発表を活性化する。
- (8) 授業内で生徒どうし意見交換し，発表する機会を増やし，自らの考えを伝えることに対する苦手意識を減らす。